



**安心・安全で苦痛の少ない内視鏡検査による正確な診断と治療  
を実践。**

**患者さん本位の医療を支えてくれるのがQualis（クオリス）です。**

内科・消化器内科・内視鏡内科

●医療法人愛恵会

ハルカス内視鏡クリニック様

（大阪府大阪市）

クオリス  
**Qualis**  
Medical Station

地上300m、日本一の高層ビル〔あべのハルカス〕の22階。2019年2月に開院した「ハルカス内視鏡クリニック」では、先端ビジネスエリアで活躍する30代～50代の年代層を中心に、「胃がん、大腸がんの撲滅」を掲げて、内視鏡による早期発見、早期治療を推進しています。平日は午前9時～12時半、午後4時～7時、土曜日は午前中も診療。近隣はもとより会社勤めの患者さんにとって、便利で頼りがいのあるクリニックです。

診療は大澤昭朗院長が行い、内視鏡検査は日本消化器内視鏡学会の専門医が実施しています。検査では従来の経口内視鏡検査より楽な経鼻内視鏡検査や、鎮静剤により眠ったままでの内視鏡検査を行っています。

同クリニックの日々の診療を支えるのが電子カルテQualis（クオリス）。「血液検査結果を患者さんに説明する場合、時系列で同一画面に表示できるので前回、前々回と今回の比較や経過を説明するのに便利。さらに電子カルテ上にいろいろなデータを表示して診療内容を説明できるので、患者さん自身も診療内容を理解しやすい。さらに待ち時間の短縮にも大いに役立っていますね」（院長）

現在、受付に2台、診察室に1台、内視鏡検査室に1台の計4台という構成でご活用。大澤院長が、同クリニックの今後の使命として位置付けているのが「病診連携」と「診々連携」による患者さんの健康管理。Qualisの役割はますます重要になってまいります。

『文藝春秋』2019年9月号